

ふかえりのわくわくFP通信

ちょっと気になる「資産運用」「保険」「年金」などお金についての話題をお届けします。

夫婦円満 家計の知恵

11月19日(土)日経新聞のNIKKEIプラス1の特集記事はこんなテーマでした。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUD25CB90V21C22A000000/>

夫婦円満の家計管理術10選

- 1位 収入、貯蓄の脱ブラックボックス化
- 2位 家族・教育計画の共有
- 3位 それぞれの負債を隠さない
- 4位 住宅ローン情報の透明化
- 5位 リタイア時期を話し合う
- 6位 加入している保険を伝える
- 7位 それぞれの親の暮らしを知る
- 8位 互いの資産運用を確認
- 9位 介護希望を事前に把握する
- 10位 医療受診方針を共有する

思い当たることはありませんか？

特に1位の家計のブラックボックス化は多くのご家庭で見受けられます。夫婦だけでお金の話をするとかえってややこしいことになってしまいます。そんな時こそファイナンシャルプランナーの出番ですよ。

第三者が入ることで落ち着いて話し合いができますし、プロの知識を分かりやすくお伝えすることも出来ます。

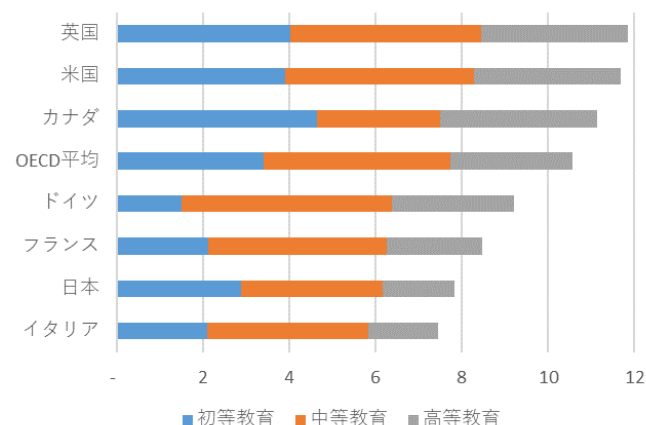
夫婦仲良く、ご相談いただくと本当に楽しい時間になります。

ぜひ一度、話し合いの機会を持ちませんか？

大きい大学費用負担

OECDは10月、「Education at a Glance (図表でみる教育2022)」を公表しました。

下図はG7各国の政府支出に対する公的な教育支出の割合です (OECD報告書データより作成)。OECD平均10.5%に対して日本は7.8%とかなり少なくなっていることがわかります。そのため特に高等教育段階では私費負担の割合が高くなっています。



そんな中、奨学金を利用する学生も増えていますが、300万円を超える借金を抱えて社会人になる事への不安も大きいようです。今年に入り「出せ払い型奨学金」制度について議論されているのもこのようなことが背景にあるからです。

親の負担は勿論、将来の子どもの負担を少なくするためにも早い時期からの準備が大切になりますね。



「みらいのお金クリニック」
アルシアコンサルティング株式会社
深川 恵理子

〒251-0023 神奈川県藤沢市鵜沼花沢町2-3PHビル2階
TEL 0466-54-8417 CALL 090-8437-5259

[HP click](#) ◀ [Blog click](#) ◀ [LINE friend](#) ◀ [Twitter follow](#) ◀

ちょっと気になるお金のコラム

宝くじの起源

12月には宝くじを購入しますか？
日本における宝くじの発祥は箕面（大阪府）の龍安寺と言われています。正月に参詣した人が、自分の名前を書いた木札を唐びつの中に入れ、それを寺僧がキリで3回突き、3人の“当せん者”を選び、福運の“お守り”を授けたのが起こりと言われています（宝くじ公式サイトより引用）。

宝くじが当たる確率は

今年の年末ジャンボ宝くじの1等は7億円です。当たったら何に使おうか、と夢が膨らみますね。では1等が当たる確率は何%ぐらいでしょうか？

宝くじ公式サイトによると今年の販売枚数は1ユニット2000万枚、上限23ユニットのようです。下表はユニット当たりの当選額と当選本数です。

等級等	当せん金	本数	
1等	700,000,000	1	700,000,000
1等の前後賞	150,000,000	2	300,000,000
1等の組違い賞	100,000	199	19,900,000
2等	10,000,000	4	40,000,000
3等	1,000,000	40	40,000,000
4等	50,000	2,000	100,000,000
5等	10,000	60,000	600,000,000
6等	3,000	200,000	600,000,000
7等	300	2,000,000	600,000,000
当せん金合計			2,999,900,000

つまり1等が当たる確率は、 $1/2000$ 万、 0.00000005% です。ちなみに飛行機が墜落する確率は 0.0009% 程度だそうです。

2000万枚買えばすべての当せん金をもらうことができます。当せん金の合計は2,999,900,000円、購入額の合計は60億円（ $300\text{円} \times 2000$ 万枚）と購入額の約半分しか戻ってきません（ここから経費を引いた金額が様々な事業に使われます）。

7億円という大きなお金を得ることができるという夢がある一方、300円で買った宝くじは買った瞬間に確率的には半値になると思うと少し冷めてくる人もいるかもしれませんね。

高額当選した人だけがもらえるもの

高額当選した人は当選金のほかに「【その日】から読む本」という冊子が配布されます。

- 当せん証明書の発行を依頼しておく
- 後悔するような軽はずみな言動に注意する
- 当せん直後は、興奮状態にあるという自覚を
- 興奮の後に訪れる不安は、以前の自分に戻るための通過点
- ひとりでも人に話せば、うわさが広まるのは覚悟しよう

このような、突然大きなお金を手にした人特有の項目以外に

- 住宅、教育、老後で必要なお金を考える
- 贈与税について知っておく
- もしもの時のために遺言状を作る

などの項目も記載されているそうです。なぜか生命保険を考える時と同じような項目ですね。

宝くじに当たった人も当たらなかった人も、年末年始には、将来のお金の使い道などについて考えてみてはいかがでしょうか？